

第40回静岡県優良素材普及展示即売会

11月23日(木) ●最終入札●
12時00分締切り

出品予定量 約1,200m³

大井川、安倍川、天竜産
杉、桧、広葉樹ほか大量出品

■展示入札期間 11月21・22・23日■

●主 催 静岡県木材協同組合連合会 ●主 管 島田木材協同組合
●後 援 林野庁関東森林管理局・静岡県・島田市・島田商工会議所・
静岡県森林組合連合会・静岡県木材青壮年団体連合会

展示・入札会場
株式会社

スンエン

〒427-0013 静岡県島田市御請229番地
TEL 0547-35-6111 FAX 0547-35-6114
URL <http://www.sunen.co.jp>

2023年(令和5年)11月23日(木曜日)

県産材展示即売 地元児童も見学

きょうまで島田で

県木材協同組合連合会(静岡市葵区)による県産材の展示即売会が23日まで、島田市御請の木材業「スンエン」で開かれている。

今年で40回目。会場には、スギやヒノキを中心に10種類余の木材が集められた。長さ3〜6材、直径は最大1材で、約1500本あり、建材や家具に使われ

県産材の展示即売会を見学する児童ら。島田市御請で



る、節が少なく木目の美しい優良な木材が並ぶ。期

間中、県内外の製材業者約100社が入札に訪れるという。

22日は、近くの島田市六合、六合東両小学校の見学会があった。六合東小の3年生29人は2班に分かれ、講師を務めた島田木材協同組合の会員から説明を受けた。芦田紗良さん(9)は「家を建てるにはスギかヒノキが一番だと学んだ。木の種類によって強度や防水、防虫効果が異なることも分かった」と話した。

(福沢和義)

令和5年(2023年)11月24日(金曜日)

県産材の魅力 触って体感

島田木材協同組合は22日、原木市場の見学会を島田市御請のスンエンで開いた。六合小と六合東小の児童が訪れ、県産材に触れながら木材産業への理解を深めた。

開催中の県優良素材普及展示即売会の会場で、大井川や安倍川流域などで切り出されたヒノキなどを見学した。子どもたちは触った

島田の児童、原木市場を見学

り匂いを嗅いだりしながら、組合員から用途などの説明を受けた。樹齢100年以上のケヤキも出品され、大きさに驚く児童もいた。隣接するプレカット工場では、住宅建築に使用される木材の加工現場を見て回った。

川村右介理事長は「古くから木材産業が盛んな地元を知り、県産木材の素晴らしさを感じてくれればうれしい」と話した。

原木市場を見学する児童

＝島田市御請のスンエン



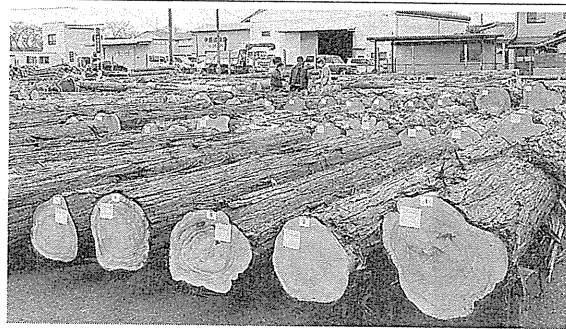
今回も桧良材に人気集まる

市場見学会も実施

スンエン・静岡優良素材展

スンエン(静岡県島田市、中居幸博社長)

は11月23日に、静岡県木材協同組合連合会主催、島田木材協組主管による「第40回静岡県優良素材普及展示即売会」を開催した。各地区木協材など約1200立方材を出品し、買ひ方の手当てが進み3725万円を売り上げた。先般の台風被害の影響



響が残り今回も大井川流域材の集荷が難しかったが、定番の桧良材やケヤキ丸太を中心に買い進まれた。桧丸太の主な出来値(立方材)は、9材×44材=28万円、4材×52材=25万3000円、4材×48材=21万8000円など。また、ケヤキ丸太は7材×100材に1本代金103万円、6材×

今回も桧良材が引き合われた

88材に同40万円の値が付いた。このほか、桧元玉や杉中目、サワラ、モキ、クスなどが引き合われた。展示期間中の22日には「しずおか木使い県民運動」の協賛催事として市場見学会が開かれ、地元小学校2校の児童ら約180人が参加。出品された原木やプレカット工場、木造倉庫などを見学した。